

山行報告書

北海道山岳・SC 連盟アルパインクライミング・レベルアップ研修会

神居岩ドライツーリング

令和 6 年 11 月 2 日 リーダー石井 参加者：K・H、D・S、K・Y

行動概要 8:30 神居古潭駐車場～9:00 神居岩～15:00 神居古潭駐車場

行動記録

昨年のアルパインクライミング・レベルアップ研修会で初めて訪れて以来 2 度目の神居岩。今年は神居古潭駐車場からの橋が通っていたのでアプローチが楽です。朝方まで降った雨でアプローチはぬかるんでいるが岩場はいずれにしても沁み出しポタポタ。ドライなのにウェットとはこれいかに。

今日のルートも昨年に引き続きカンナカムイ M9-。神居岩ドライでは最も難易度の低いルートとはいえるものの、昨年は第一核心を超えるのでやっとだったルート。今年も動画で少し予習をしたものの、昨年のような緊張よりもワクワクした気持ちで岩に向き合った。さて今年はどうだろう。インドアドライや冬のアルパインなどでアックス経験値は増えているはずだが。

まずは石井リーダーのリード。第一核心乗越の後の薄かぶりの連続に思わず声が上がるも、さすがの安定感でトップアウト。トップロープにしてもらいそれぞれトライ開始。

K・Y さん、下部に手こずりルーフの一手を取る直前でアックス落としてしまい終了。

続いて K・H。ルーフ乗越まではノーテンで登れた！しかし、ロープのクリップを外し忘れ痛恨のワンテン。その後何度もテンションかけながら 2/3 まで登りガバがなくなる厳しいポイント(チェーン支点のすぐ下あたり)でムーブがわからなくなりギブアップ。

D・S さん、初神居岩に苦勞してルーフの決め、手にアックス入るも足を上げる力残っておらず敗退。

雨は降らず気温も 10 度台前半程度で防寒着も必要とせず快適なクライミングができました。

それぞれの登りを分析しながら各々その後も数トライ。各自の課題を見つけつつ私は最後のテラスの直前、終了点まであと2ピンまで伸ばすもトップアウトは出来ませんでした。それでも全トライで第一核心のルーフ乗越は確実にノーテンで上がれるようになり随分成長を感じることが出来ました。素晴らしいドライシーズンインとなりました！

今回のドライツーリングの学びとしては

- ・積極的にクラックを利用して足を上げる
- ・足を上げるときには時に思い切って上げることで手数が減り筋力の消耗を軽減できる（K・Yさんに指摘されて気がついた）
- ・アックスに体重がかかる時なるべく小指のグリップに引っ掛けるイメージで握り込みすぎによる腕の消耗を軽減する（核心部で必要以上に力まない方が楽に登れた）
- ・足が開く時にはキョンにして動きやすい体勢を作る（D・Sさんに指摘してもらった）
- ・体勢が安定している時は膝をしっかり岩に密着させて休む（リーダーの膝はたっぷり濡れていたが、我々の膝はきれいだった）

昨年神居岩でドライツーリングを経験してアックス・クランポンでの岩の扱い方を学び、冬のアルパイン（上ホロではバケモノ岩、北西稜、八手岩、近郊では八剣山など）の経験に活かしました。つくづくアルパインは総合力が試される、さまざまな技術の集合体であることを実感しました。今回のような研修を通じて改めて基本的な技術・体力・知識を増やすことの大切さを再認識した次第です。

報告者：K・H



D・Sさん結び目チェック



K・Yさんの登り



K・Hさんの登り